

人民の需要を満たすための社会主義建設



ユハ・キエクシ

ヨーロッパ・チュチェ思想研究会副理事長

フィンランド・チュチェ思想研究会会長

朝鮮労働党第8回大会は、社会主義社会を建設し人民の基本的な人権と平等をより確固たるものにするうえで、金日成・金正日主義の特筆すべき役割を明示した、きわめて意義深い大会でした。

朝鮮の社会主義建設を遅らせる諸々の外的要因

周知のとおり、朝鮮民主主義人民共和国をとりまく外的環境は、きわめて厳しいものです。

諸々の外的要因により、朝鮮の社会主義建設が阻害されています。たとえば、帝国主義者が関与する貿易封鎖や経済制裁、地球規模で広がるコロナ禍、毎年発生する自然災害などがあげられます。これらすべてのことは、程度の差はあれ、帝国主義やグローバル化が進んでいった帰結です。

朝鮮にたいする貿易封鎖や国際連合による経済制裁は、米国の対朝鮮敵視政策に端を発しています。米国は、朝鮮が国防力を強化できないように策を弄しています。米国は、朝鮮が帝国主義者の攻撃を恐れず、自力で社会主義を建設することに歯止めをかけようとしています。米帝国主義者は、朝鮮が国防力を強化することを快く思いません。朝鮮が国防力を強化すれば、帝国主義者らが、すべての国々に圧力をかけ、あの手この手で帝国主義国の経済制度や市場経済を導入させることができなくなってしまうからです。

経済制裁により、朝鮮は、他国との貿易が妨げられています。経済制裁は、事実上、朝鮮人民の生活に直接的な影響を及ぼす、きわめて悪質な敵対的行為です。経済制裁は、国際法の問題、普遍的な人権精神に反する行為です。米国は人権問題で朝鮮を非難していますが、米国は朝鮮半島に米軍を常駐させており、まさに人権を侵害していると言えます。

朝鮮をとりまく厳しい外的環境の二つ目は、新型コロナウイルス感染症の大流行です。これもまた、グローバル化が進んだことによる一つの帰結です。資本や人間の自由な往来がない状況では、感染症の世界的流行は起こりません。一般的に、諸々の感染症の世界的流行

が帝国主義によって強められています。朝鮮民主主義人民共和国は、新型コロナウイルス感染症の封じ込めで、世界でもっとも成功した国です。コロナ禍が始まってすぐに、朝鮮は国境封鎖をおこなうことができました。なぜなら朝鮮では、80年にわたって経済分野で自立した社会が築かれてきたからです。

欧米諸国では、状況は悪化しています。コロナ禍は、大きな社会的問題を引き起こしています。欧米諸国では、失業率が増加しています。しかし大資本は潤沢な資金で支えられています。コロナ禍は一向に収まる気配がありません。貧しき者はますます貧しくなり、富める者はますます豊かになっています。資本主義社会では、大企業は、どのような社会的危機に陥っても、それを利用してむしろ儲けることができます。危機的状況がある度に、大企業は、一般の人々の所得分配を目盛りさせる手法をとることができます。

なぜそうなるのかの要因として、人権にたいする欧米的解釈や、あまりにも強い私的財産の保護制度があります。私的財産保護に投じられる力量が、つねに一般の人々の生活の維持に向けられる力量を上回っています。資本主義社会は、大企業に倒産を強いることはできませんが、人々には自宅に留まっているよう命令します。大企業がその事業を制限しなければならない場合は、十分な社会的保障がなされます。人権にたいする欧米的解釈によれば、大企業の権益は維持され、帝国主義の強化に道を開きます。

朝鮮をとりまく厳しい外的環境の三つ目は、朝鮮半島で繰り返し多発している自然災害です。自然災害は、大企業の利益優先の政策によってますます悪化しています。気候変動により、異常な気象現象が朝鮮半島で多発するという科学的な実証データがあります。世界の気候変動への対策は、まだ求められるような水準には至っていません。気候変動対策は、大企業の利益に抵触するであろうし、環境問題に多くの資金を投じなければなりません。欧米諸国にはこのような気候変動問題に対処しようとする意志がなく、この問題を解決することはできません。大企業は、えてして政権や当該機関をその支配下においています。このような状況のもとでは民衆の意見は重視されていません。

朝鮮労働党第7回大会以降の活動を分析

朝鮮労働党第8回大会では、朝鮮をとりまく厳しい外的環境に注目しただけでなく、社会主義の発展を阻んでいる内的要因にも注目しました。現実には、外的障害がおよぼす影響よりも、内的障害による影響に大きく左右されているといえます。

2020年8月、朝鮮労働党中央委員会第7期第6回総会では、第8回党大会を前にして党活動と社会の発展状況を詳細に検討することが決定されました。このような科学的な分析により、現状に関する重要な情報を得ることができました。金正恩総書記は次のように述べています。

「われわれにはこれまでの成果も貴重ですが、それに蓄積した苦い教訓もきわめて貴重なものです。これらすべては金銭をもってしても買えないものであり、今後の新たな勝利のための貴重な元手となります」（朝鮮労働党第8回大会開会の辞）

事実、潜在力と発展可能な分野の両方を特定することが重要です。発展可能な分野の特定と認識がなければ、正しい方向にむけて変革をおこなうことができません。

金正恩総書記はつぎのように述べました。

「わが党がこれまでの党大会とは異なり、今回の大会で自己の活動を肯定的な面ではなく、批判的な立場に立って冷静に分析総括したのは総括期間に収めた成果に劣らぬ大きな意義を持ちます」(朝鮮労働党第8回大会の結語)

朝鮮労働党第8回大会のもう一つの意義は、前回の大会よりも、もっと多くのメンバー、とりわけ、党の中核メンバーがより多く参加したことです。金正恩総書記は、第8回党大会の基本精神はこれまでの会議とくらべても画期的なものとなっていると述べています。

「今まで全党的に重要な政治的な集会や大会合が数多く開かれそのたびに党中央の政策と思想に対する参加者の熱意が極めて高く発揮されましたが、今回の第8回大会のように満場が問題の討議に心酔し熱中する、このような高い参加熱意に接するのは初めてです」(朝鮮労働党第8回大会閉会の辞)

以上のことすべてが、朝鮮の内部力量と課題にたいする緻密で批判的な議論を可能にしています。このような議論が、社会にたいする科学的な理解、すなわち金日成・金正日主義にもとづいてなされるならば、望ましい社会発展、人民に幸福な生活をもたらす発展が実現されていくことは、間違いありません。

自給力強化に集中

朝鮮労働党第8回大会は、今後の5か年計画の期間、朝鮮は金属工業と化学工業の発展に力量を投じることを明らかにしました。これらの工業を強化することは、とりわけ重要です。朝鮮は工業発展の基盤となる天然資源に恵まれています。豊富な天然資源は朝鮮の自給力を高めます。自力更生を強化していくことが重要です。なぜなら、経済的自立を堅持できなければ、帝国主義者の圧力で、朝鮮は転覆されてしまうからです。グローバリゼーションは、百数十か国に圧力をかけて、偏った生産システム、偏った国家経済システムを受け入れさせました。グローバリゼーションは、これらの国々が自国人民の需要を満たせるように社会を発展させる能力を弱化させています。グローバリゼーションにより、これらの国々はまた、帝国主義の脅しにきわめて過敏になっています。朝鮮の長期にわたる自給自足の取り組みは、長いあいだ経済的自立を堅持し、さまざまな機会にその威力を発揮しました。朝鮮は1990年代に、社会主義経済システムの崩壊からまぬがれましたし、何回もの自然災害にも持ちこたえることができました。朝鮮労働党第8回大会は、地域経済の発展の基礎をきずくことの必要性、都市あるいは地方に住むかいななかにかかわりなく、人民の生活水準の向上の必要性を明確にしました。実際、第8回党大会で採択された新5か年計画では、都市と地方のすべての人々に、高い水準で保健衛生と教育が保障されなければならないことが明記されました。団結力の強化が不可欠な社会主義社会の建設では党と人民の団結が、なによりも重要です。すべてが人民の福利厚生改善にむけられている社会において築かれる一心団結がなければ、平等な社会を建設することができません。金正恩総書記は総括的につぎのように述べています。

「以民為天、一心団結、自力更生、まさにここにわが党の指導力を強められる根本的秘訣があり、わが党が大衆のなか深く根を下ろすための根本的方途があり、われわれが生き続け、前

途をきり拓くことのできる根本的で唯一の保障があります」（朝鮮労働党第8回大会の結語）

大衆から学ぶことは、とりわけ朝鮮とブルジョア社会との根本的違いであり、金日成・金正日主義の強みです。民衆のなかに入ることによってのみ、わたしたちは、社会で何がよく機能しているか、改善にむけて何が求められているかについて役に立つ知識を得ることができます。朝鮮社会では、ブルジョア社会で起こっている選挙期間だけは民衆の意見を聞き、それ以外のときは、民衆の福祉更生の改善にまったく関心がないということはありません。朝鮮労働党第8回大会は、現状を包括的に分析し、差し迫った課題を解決にむけてたたかう機会にしました。

第8回党大会では、特に農村において、思想、技術、文化の三大革命をさらに強化する必要性が強調されました。労働者階級は、もっとも優れた階級意識をもっとも進歩的な階級です。全社会の発展のためには、農業労働者の思想意識が労働者階級のそれと同様に高いことが重要です。これは全国家が一心団結を達成するうえでの必須の前提条件です。

金正恩総書記が述べているように、朝鮮労働党第8回大会の基本内容は、最後の勝利を達成するために、朝鮮の自己の内部力量を拡大しようということです。第8回党大会は、この目的を達成するための思想意識は、党員にあり、党員が高い思想意識をもって、次第に全人民に広げていくことであると明らかにしました。金正恩総書記はつぎのように述べています。

「言い換えれば、われわれの内部の力を全面的に整備し再編成し、それに基づいて全ての難関を正面突破して新しい前進の道を切り開かなければならないというのが、本大会を通じて再確認された朝鮮労働党の革命的意志です」

結び

朝鮮労働党第8回大会は、今後の5か年間に、経済的自立や自衛力を強め、人民の福利厚生をより充実させるための重要な指針を打ち出しました。朝鮮人民は、都市に住んでいても、地方に住んでいても、同じ利便性の恩恵が得られるようになるでしょう。しかしながら、それにもまして意義深いことは、「以民为天」の理念を強く推しだしたことです。これは、あらゆる社会発展は、人民の需要を満たすことにもとづいていることを現実化したということです。ほとんどの国々では、社会発展が大資本の必要性にもとづいているのですから、このことは、とても意義深いことです。金日成・金正日主義は、朝鮮人民の福利厚生や朝鮮における社会主義建設を確かなものとする思想です。と同時に、世界の自主化のためにたたかう人民にとって、金日成・金正日主義は貴重な指針となります。